

東日本・家族応援プロジェクト

団士郎「木陰の物語」漫画展

2015年3月5日(木)～11日(水)

12:00～18:00pm 最終日は16:00まで **日曜閉館**

天理文化協会(TCI)43A West 13th, NY

立命館大学大学院応用人間科学研究科では、2011年から10年計画で、毎年、東北4県（青森・岩手・宮城・福島）を巡り、東日本・家族応援プロジェクトを開催しています。団士郎・家族漫画展＋各種セミナーを通じて、被災地の方々にエールを送りながら、復興の証人（witness）として存在し続けたいと願っています。

このたび、NYにて、団士郎の漫画展を開催するとともに、小さな報告会を企画しました。皆様お誘いあわせのうえ、是非いらしてください。

報告会 プロジェクトから見える被災地の今

日時 2015年3月10日(火) 18:00～20:00pm

場所 天理文化協会

報告者 村本邦子・中村正・団士郎(立命館大学)

団士郎 プロフィール

- 1947年 京都市生まれ、滋賀県大津市育ち
- 1972年 同志社大学文学部文化学科心理学専攻卒業
- 1998年 仕事場D・A・N設立
- 2001年 立命館大学大学院応用人間科学研究科教授
社団法人・日本漫画家協会会員
- 1989年 第三回ユーモア広告大賞広告主賞
- 1990年 第四回ユーモア広告大賞ビジュアル賞
- 1999年 第二十回読売国際漫画大賞優秀賞



被災者にマンガ家のできること

マンガ家は、がれきの片付けには役にたたない。
マンガ家は仮設住宅の建設にも役にたたない。
マンガ家は大きな組織も動かせない。

だからマンガ家は、小さな事をそとやる。
多くのモノを失った被災者のところに、
誰かの小さな物語を持って訪れる。

それは誰の記憶の中にも眠っているもの。

何もかも奪われたような悲しみの中、
そんな記憶が甦ったら、
少しは心が動き始めないか。

団士郎



共催

立命館大学大学院応用人間科学研究科、立命館大学人間科学研究所・文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「インクルーシブ社会に向けた支援の〈学=実〉連環型研究」（修復的支援チーム）